

令和7年度

生比奈小学校

鼓 動

校長室通信

NO.8

子どもたちにつけたい力

長かった2学期も間もなく終業式を迎えます。保護者の皆様には、9月の人権授業参観、10月の愛好奉仕作業、11月の運動会等各種行事に際して、また、各学年の教育活動に対してご理解ご協力いただき誠にありがとうございました。

さて、次のような内容の記事が目に入りました。「いつ失業するか分からないIT関係の仕事に就く人の家に、高級スポーツカーのポルシェに乗った電気工事の職人がやってくる。」というアメリカでの話です。このことは、数年前は、社会の花形職業であったIT関係の仕事がだんだんと無くなってきているが、電気工事の職人のような、専門的な知識と技術と体力が必要でロボットで代用できない仕事に就く人は、高額な報酬をもらえるということを表しています。AIの急速な普及等の社会の変化で、今ある職業の多くが将来はなくなると言われて久しいですが、変化の激しい社会の中で、子どもたちはたくましく生き抜かなくてはなりません。それでは、そのために今どんな力を子どもたちにつけなければならないのでしょうか？

11月28日は、持久走大会でした。低・中・高学年に分かれて、それぞれの距離を走りました。長い距離を走るのは自分との戦いとなります。「あそこまでは頑張ろう」「あの子にはついて行こう」と、あきらめずに頑張る精神力と粘り強く走り続ける体力が必要となります。自分の力で一歩ずつ一歩ずつ進まなければゴールはできません。まさに、これが今つけたい力だと思います。目標に向かってあきらめずに頑張る心、毎日元気に遊び、運動をし、勉強ができる強い体をつくるのが将来につながるのだと思います。そして、そこで必要なのが、応援を力に変えて走る持久走大会のご家族や友達の支えだと思います。

それでは、皆様良い年をお迎えください。

